

「日本農業遺産」の農村の輝きを、映像美と共に伝える
ドキュメンタリー映画

2019年
9/29 (日)
13:30
~16:30

武蔵野

茨城県霞ヶ浦環
境科学センター
にて ■ 申込
不要・入場無料

~江戸の循環農業が息づく~

| 監督:原村政樹 | 音楽:鈴木光男 | 語り:小林綾子 |
上演時間:111分

森を育み
森に生かされ
森と歩む

どんなに時代が変わっても、変えてはならないことがある



ドキュメンタリー映画

武蔵野

～江戸の循環農業が息づく～

上演時間：111分

埼玉県南西部に日本最大の平地林がある。大都市近郊にこれほど広大な平地林が残されている場所は世界中でも他にはない。ここは360年程前の江戸時代、農家が木を植え、先祖代々手入れを続け、落ち葉を集めて堆肥を作り、毎年畑に施して、やせた原野を肥沃な大地に生まれ変わらせた江戸の開拓村。世界中の土を調査した土壌学者も目を見張る優れた畑の土で、森にはたくさんの生物が生息し、四季折々、美しい景観が人々を和ませる。

しかし首都圏に近いため、開発の波が押し寄せ、徐々に姿を消しつつある。そんな中、貴重な平地林を未来につなげたいと、市民が農家の応援に駆け付ける。工芸作家たちも間伐材で家具や日用雑貨を製作して森の価値を発信している。

毎年変わることなく繰り返されてきた森の恵みを活かす伝統の循環農法こそ持続可能な農業だと、若い後継者たちも積極的に取り組む。その価値が認められ、大都市圏で唯一、日本農業遺産に認定された。



映画『武蔵野』上映会と講演会 開催内容

- 日時：2019年9月29日（日）13：30～16：30
- 場所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール
（〒300-0023 茨城県土浦市沖宿町 1853 電話：029-828-0960）
- 内容：
 - (1)主催者挨拶 13：30～13：40
 - (2)上映 13：40～15：31 上映時間 111分
映画『武蔵野～江戸の循環農法が息づく～』
 - (3)講演と意見交換 15：40～16：30 約50分
講師：鈴木敏夫プロデューサー
（映画『武蔵野』製作委員会副会長）
- 参加費：無料
- 申し込み：不要（先着順）
- 主催：認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会
- 後援：土浦市、土浦市教育委員会、公益財団法人日本自然保護協会、公益社団法人茨城県緑化推進機構、独立行政法人国際協力機構筑波国際センター、一般社団法人霞ヶ浦市民協会、認定NPO法人茨城NPOセンター・commons、NPO法人森づくりフォーラム、NPO法人茨城県環境カウンセラー協会、山崎農業研究所、石岡市森林カーボンオフセット協議会、NPO法人国際農民参加型技術ネットワーク、NPO法人ラムサール・ネットワーク日本、株式会社つくば林業、NPO さとやま、NPO法人ままとーん（順不同）



講演者紹介 ● 鈴木敏夫氏

埼玉県川越市生まれ。東京農工大学卒。
（株）農文協プロダクション代表取締役。
季刊誌「うたかま」を平成17年創刊。

この地域（埼玉県川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町）の農家は雑木林（平地林）をヤマと呼び、「人間はヤマに生かされている」と言う。「人間も自然の一部である」。「先祖が残してくれた大切なものは変えてはならない」とも。変化が激しい現代にあって、変わらないことの大切さを教えてくれる。映画では、この地の伝統農法の神髄に迫り、効率重視の工業的価値とは対極にある「農」の深い精神文化を描いている。

映画「武蔵野」製作委員会 会長・大野松茂 <http://www.cinema-musashino.com/>
事務局：〒350-1133 川越市砂 846-3 鈴木方 Fax.049-242-4811 E-mail：suzutoshi0620@nifty.com
後援：川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町・武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会

主催団体 ● 認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会
会の趣旨に賛同される方はどなたでも入会できます。
会報「五斗蒔だより」を毎月お届けします。
● 年会費：普通会員 1,500円/正会員 2,000円/賛助会員 10,000円
※会への寄付は税法上の優遇措置などを受けることができます。
● 郵便振込先 / 口座番号 00170-0-539787 穴塚の自然と歴史の会
〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室 292-5 及川方
会費募集先 E-mail：sitateuka@tmuf.biglobe.ne.jp
<https://www.kasumigaura.net/ooike/>



開催場所地図